

平成23年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	ムーブメント信号制御方式による信号制御高度化モデル事業		担当部局庁	交通局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成24年度(予定)		担当課室	交通規制課		交通規制課長 北村 博文		
会計区分	一般会計		施策名	4 安全かつ快適な交通の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通渋滞が慢性化している路線の円滑化を図り、CO ₂ 排出量の削減など環境に配慮した交通管理を推進するため、新たな信号制御方式をモデル事業として整備し、その効果をとりとめる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ムーブメント信号制御方式とは、流入路単位で青時間をコントロールすることにより、交通需要の少ない方向の青時間を削減し、需要の多い方向の青時間に割り当てる信号制御方式であり、無駄な青時間の削減(渋滞の解消)とともに、錯綜する動線の回避(交通事故の抑止)が期待できる。平成22年度は、交通管制エリア内の交差点に整備するムーブメント信号制御機及び交通管制センターに整備する中央装置等を購入設置した。 [平成22年度～平成24年度計画の初年度]							
実施方法	直接実施		業務委託等	補助	貸付	その他()		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	286	103	8	
	執行額	-	-	284				
	執行率(%)	-	-	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	(成果目標) ムーブメント信号制御方式の設置効果測定 (成果指標) 報告書数			件	-	-	0	1
			達成度	%	-	-	0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	整備交差点数			交差点	-	-	8 (8)	- (3)
単位当たりコスト	387,275千円 / 事業		算出根拠	平成23年度までの総事業費(平成22年度執行額及び平成23年度予算額)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	機器購入等	91	0	効果測定の箇所数の減				
	人件費等	12	8					
計	103	8						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、都道府県警察に予算配賦をしており、執行状況の報告を受けていることから、支出先を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本事業は、安全で快適な交通環境を実現する施策を検討する上で有効なモデル事業であることから、引き続き実施する必要がある。本実施にあたっては、一般競争入札で行っており、今後も競争性の高い契約の実施に努めることとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

警察庁
284百万円

〔 モデル事業の委託に要する予算を配賦 〕

〔 予算配賦 〕

A: 栃木県警察
142百万円

〔 システム開発を委託 〕

〔 一般競争入札 〕

B: 民間会社(2者)
142百万円

〔 契約した事業を実施 〕

〔 予算配賦 〕

C: 滋賀県警察
142百万円

〔 システム開発を委託 〕

〔 一般競争入札 〕

D: 民間会社(3者)
142百万円

〔 契約した事業を実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.栃木県警察			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	システム開発事業に要する経費	142			
計		142	計		0
B.(株)日本信号			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
機器購入等	購入した端末等の整備・調整	104			
計		104	計		0
C.滋賀県警察			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	システム開発事業に要する経費	142			
計		142	計		0
D.(株)日本信号			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
機器購入等	購入した端末等の整備・調整	131			
計		131	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が支
 出されている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の双方
 で実情が分かるよ
 うに記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栃木県警察	予算配賦	142		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本信号	機器購入・装置改修工事	104	3	
2	(株)山本電気	端末等整備工事	38	11	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

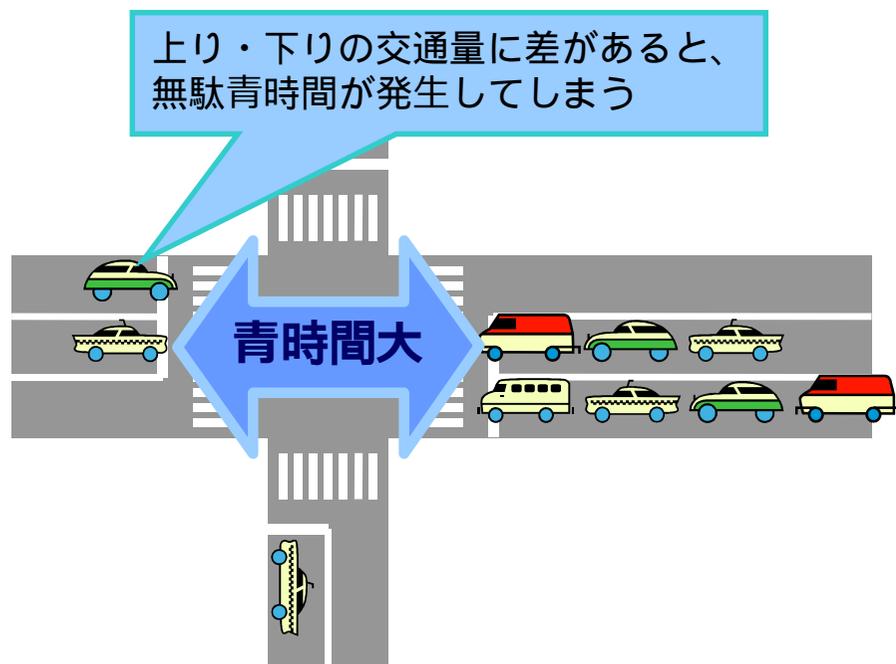
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	滋賀県警察	予算配賦	142		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本信号	機器購入・整備工事	131	2	
2	パナソニック・システムソリューションズ・ジャパン(株)	装置改修工事	10	1	
3	(株)日本システム	設計委託	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

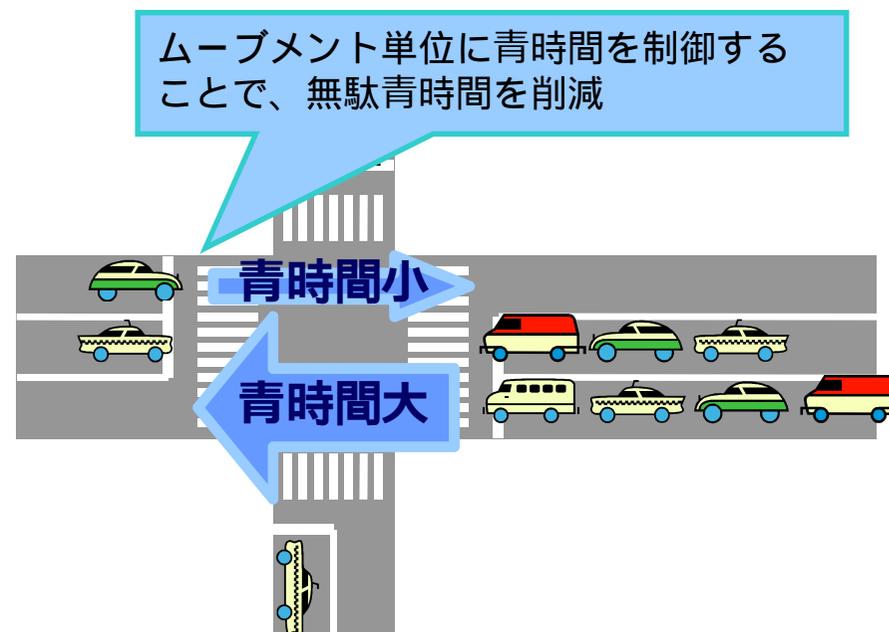
ムーブメント信号制御の概要 1

従来の制御は



路線単位で青時間を制御

ムーブメント制御では

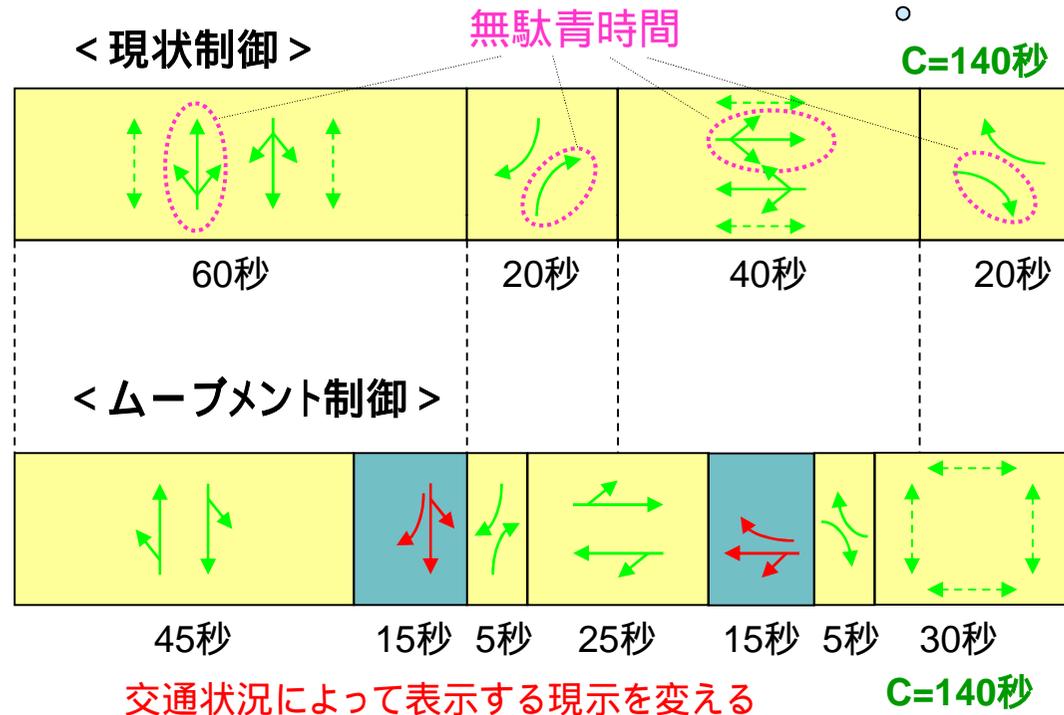
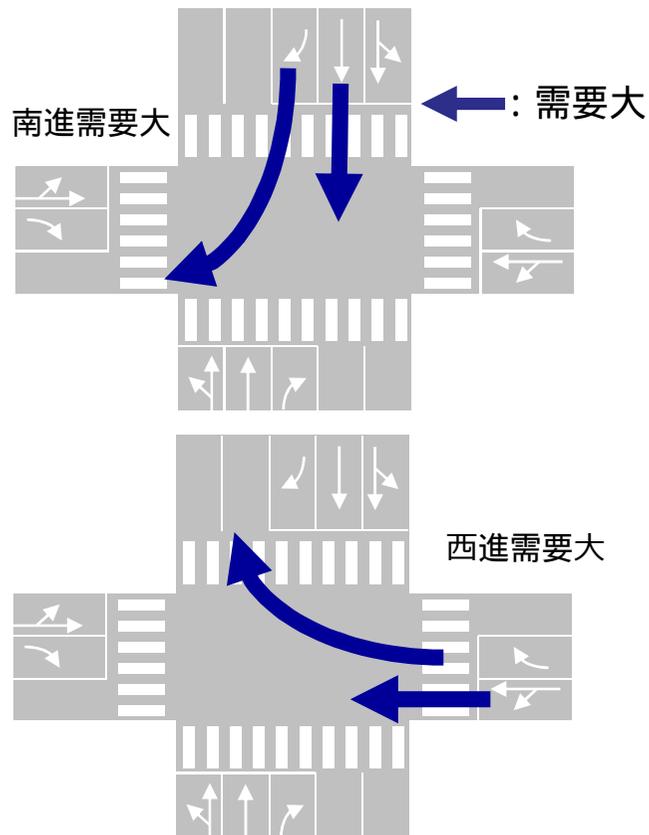


車両や歩行者などの
流入路（ムーブメント）単位で
青時間を制御

ムーブメント信号制御の概要 2

- 流入路ごとに、交通需要に応じて、青時間（矢印）を表示
- 片寄った交通需要時における無駄青時間の削減
- 流入路単位で灯色を調整するため錯綜がない（車両対車両、車両対歩行者）

現示が増えてもサイクル長は増加しない



歩行者専用現示も採用でき「安全」